

No.2

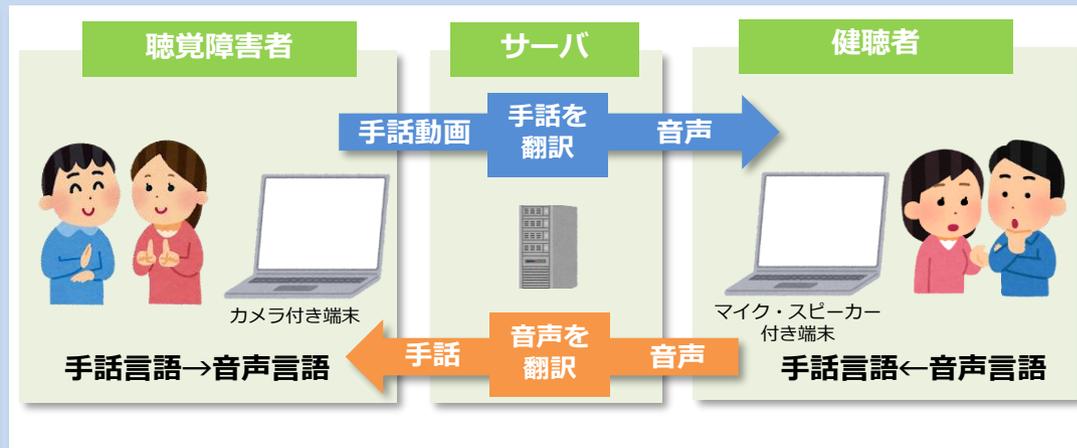
コミュニケーション・バリアフリー社会 の実現に向けた東京デフ・モデル事業

2.2億円程度
(事業期間3年間)

きこえない人が不自由さを意識することなく参画し、伸びやかに自己実現できるバリアフリー社会の実現に向けて、きこえない人ときこえる人の新たな情報伝達手段である対話型AI手話コミュニケーションシステムを社会実装します。



目指す社会像



本事業において実現する
対話型AI手話コミュニケーションシステムの構成

○対話型AI手話コミュニケーションシステムの社会実装と人材育成

- ・ 仮想空間上で手話の動作を再現するアバター技術および音声合成技術を活用して、手話言語と音声言語の本格的な双方向システムを確立するとともに、手話動画データを収集する人材を育成して、事業を継続する環境を整えます。

○コミュニケーション・バリアフリー社会に向けた東京デフ・モデルの提言

- ・ 対話型AI手話翻訳端末を都内の約半数の自治体に配布し、聴覚障がい者と健聴者双方を対象に利用者アンケートを実施し、コミュニケーション・バリアフリーの実現に向けた東京デフ・モデルを立案し、提言します。

事業実施による効果

- ・ 都内の行政窓口などにおける聴覚障がい者支援サービスと手話通訳士の労働環境が改善されるとともに、手話の啓蒙・手話話者の拡大が見込まれます。